

「令和4年度 全国学力・学習状況調査」の結果から

敦賀市立栗野南小学校

本年度、6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」について、分析結果から考えられる「栗南っ子」の特徴や成果と課題についてお知らせします。

◎成果が表れている力

【国 語】

○話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心に捉え、自分の考えをまとめる力。

【1-三】

○叙述を基に登場人物の心情を捉え、人物像や物語の全体像を具体的に想像する力。

【2-二】

【算 数】

○「倍数・約数」「比例」「割合」など、示された場面において目的に応じて数进行处理する力。

【1-(1)~(4)】【2-(1)、(2)】

○整理されたデータを、目的に応じて考察したり、活用したりする力。

【3-(2)、(4)】

○示されたプログラムから、図形を構成する要素に着目し、図形を判別する力。

【4-(4)】

【理 科】

○提示された情報を多角的に分析し、自分の考えをまとめる力。

【1-(2)、(4)】

○自分の予想と実験結果を基に考察し、自分の考えをまとめる力。

【2-(3)】

○実験方法を検討し、改善していく力。

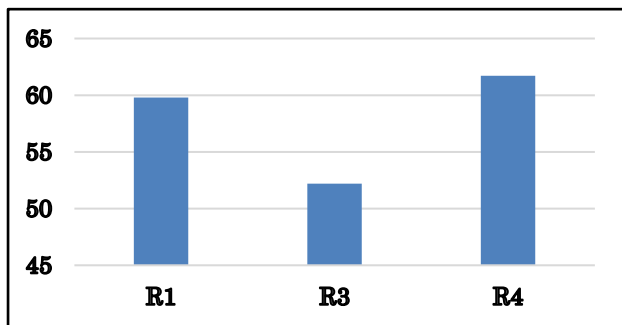
【3-(3)】

●課題となる力と授業での支援策

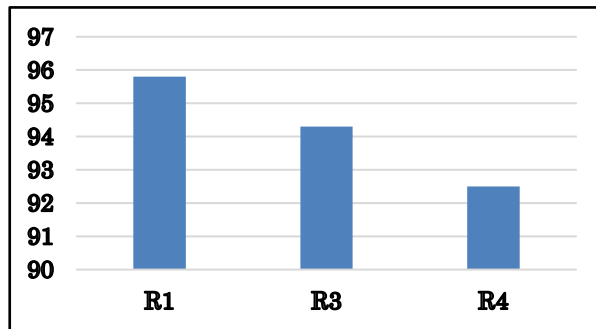
	課題となる力	授業での支援策
国 語	<p>【3-二】「文章2」を読み、感想や意見を伝え合った後に<u>書き直された文章のよいところ</u>を示された条件に合わせて<u>書きましよう。</u></p> <p>○文章に対する意見や感想をもち、<u>推敲したり、批評したりする力。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から、一度書いた文章を読み返し、ねらいに則して手を加えていこうとする態度の定着を図ります。 ・提示された条件に合わせて文章を書く活動を計画的に取り入れていきます。
算 数	<p>【2-(3)】 250mL の飲み物にふくまれる果汁の割合はどうなりますか。</p>  <p>○<u>割合</u>についての<u>本質的な理解</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・割合を表すグラフ(円グラフ・帯グラフ)の学習と結びつけ、実数と割合を表す数値との違いについて確かな理解を図っていきます。 ・日常生活における具体的な事例から考える活動を積極的に取り入れ、割合についての本質的な理解を深めていきます。
理 科	<p>【3-(1)】 鏡で日光をはね返して、的に三角形の光を当てることができるのはだれですか。</p> <p>○「<u>日光は直進する</u>」ことについての<u>理解。</u></p>	 <ul style="list-style-type: none"> ・光が直進することを、鏡を使い日光を反射させる実体験をとおして確かな理解へとつなげていきます。

○質問紙の結果から

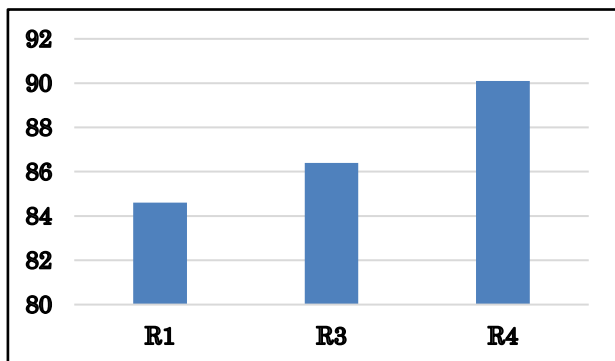
うまく伝わるよう工夫して発表しようとしている。



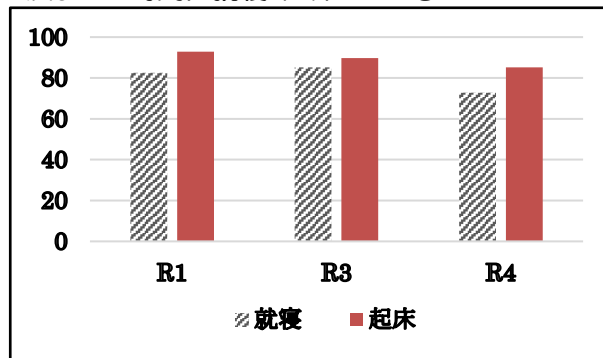
朝食を毎日食べている。



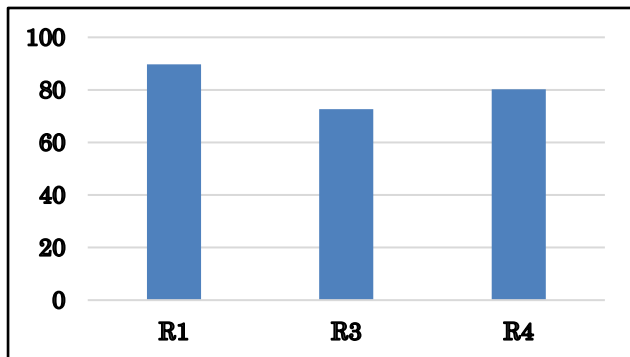
人が困っているときは、進んで助けている。



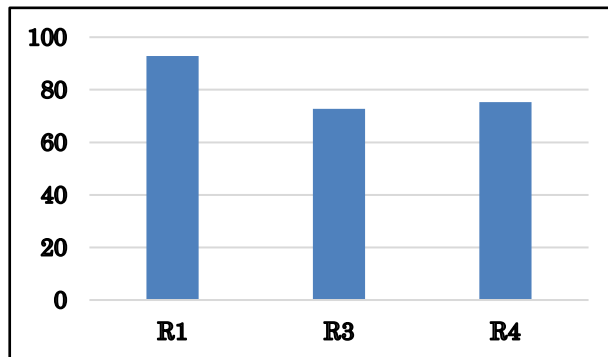
決まった時刻に就寝・起床している。



自分には良いところがある。



将来の夢や目標を持っている。



◎ これまで本校の課題であった“自分の考えを発表しようとする態度”については、「うまく伝わるよう工夫して発表しようとしている」の項目や各教科の結果から、改善傾向が見られます。日々の授業やその他さまざまな場面で話し合い活動を積極的に取り入れるなど、工夫を重ねてきました。自分の考えを述べたり、友だちの意見に耳を傾けたりする機会を増やしてきたことが成果に結び付いてきていると考えられます。

◎ 「人が困っているときは、進んで助けている」の項目では、肯定的な回答が多く、本校のめざす児童像である『やさしく（かしこく）（たくましく）』が具現化されつつあることが窺えます。また、「自分には良いところがある」と回答する児童も増加してきており、自己肯定感も高まりつつあります。

● 一方で、「将来の夢や目標を持っていますか」の項目で、「持っている」と回答できる児童は全国比、全県比ともに下回っています。一人一人が「かけがえのない存在」とあるという認識を共有するとともに、仲間と力を合わせ自ら行動する経験を積み重ね、学校生活の様々な活動で児童が主役となり、個々の将来へとつながるよう教育活動のさらなる充実を図っていきます。

● また、「早寝・早起き、朝ごはん」に代表される基本的な生活習慣についても全国比、全県比ともに下回る結果となっています。児童の生活基盤となる家庭における生活リズムを整え、学校での活動で力を発揮していけますよう保護者のみなさまのご協力をお願いいたします。

学習習慣については、実際にかけている時間や計画性などについて全国比、全県比ともに下回っています。
また、

- ◎ 「国語・算数の勉強は好きですか」「授業の内容はよく分かりますか」の項目では、一昨年比、全国比で改善傾向が見られます。家庭における生活習慣においても、「決まった時間に就寝・起床」する児童が増える傾向にあり、生活基盤が整い、日々の学習にも前向きに取り組むことのできる児童が増えてきていることがわかります。



今後も、仲間との学びあいをとおして「学校に行くことが楽しい」と思える学校づくりに努めていきたいと考えています。ご家庭でも是非、お子様と話す機会を設けていただき、お子さんの思いや考えに耳を傾けるなど、ご支援いただけるとありがたいです。今後ともよろしくお願いいたします。

・算数での学習を理科や社会でのグラフの読み取りにも生かし、資料を読み取るポイントをその都度確認していきます。

令和 3 年度

栗野南小学校だより【学力調査特集号】

TEL25-1233 FAX25-1319

URL <http://edu.ton21.ne.jp/awanominami/>

栗生野